

会		議		記		録	
会議の名称	広報広聴会議				会議場所 全員協議会室		
					担当職員 数井		
日時	令和5年11月20日(月曜日)				開議 午後2時10分		
					閉議 午後3時22分		
出席委員		◎浅田 ○三上(広報部会長) ○富谷(広聴部会長) 竹内 法貴 土岐 山木 松山 (欠席:小林)					
執行機関 出席者							
事務局 出席者		井上局長、数井次長、野澤副課長兼総務係長、田中主事					
傍聴	可	市民1名	報道関係者1名	議員0名(-)			

会議の概要

14:10

○開議

【事務局日程説明】

1 広報部会の活動について

<三上副委員長(広報部会長)>

議会だよりNo.199の編集を控え、先ほどの部会で役割分担を決定した。今年度から表紙の趣向を変えるなどしているため、市民からいろいろな意見があると思っており、また委員からも意見を聞かせてほしい。

2 広聴部会の活動について

<富谷副委員長(広聴部会長)>

11月12日の街頭インタビューの総括として、議会だよりを知っているかの問いには50人中43人が知っている、7人が知らないとの回答であった。議会を傍聴したことがあるかの問いには、44人が行ったことがない、6人が行ったことがあるとの回答であった。今回は学生から高齢者まで幅広くインタビューができ、主な意見としては、今回の食フェスがアグリフェスタと肉フェスの同時開催であったため、イベントがぼやけた感じとなり、集客が少なかったとのことである。また、バスなどの公共交通の充実、国道9号の渋滞緩和、かめきたサンガ広場の日除け対策や給水スポットの設置、子どもの相談窓口が分かりにくい、議会の傍聴に参加しやすいように休日や夜間の開催を希望するなど様々な意見を伺った。これらの意見の取扱いについて、議員間で共有したほうがよいと考えるが、議会運営委員会または各常任委員会へ報告すべきなのか広報部会から意見を聞きたい。

<三上副委員長(広報部会長)>

今回の趣旨は、議会のことを広く聴くことが目標であったと思うので、市の施策への要望を議会運営委員会や各常任委員会へ報告までしなくてもよいと思う。かつて、わがまちトークは各要望事項を取りまとめ執行部へ伝えていたが、議会に対する声を大事にしていくほうがよいと感じている。

<松山委員>

今回の街頭インタビューとわがまちトークも広聴活動という面では同じと思っており、聴き取った要望や意見を議員間で情報共有することは必要で、方法として議会運営委員会に報告し、各委員に伝えていくことがよいと考える。

<竹内委員>

実際にインタビューでいろいろな声を聴き、持ち帰らせてもらおうと返答したものもある。ある女性は、市長の手紙や議員に意見を言ったことがあるが、届けた声はどうなっているのか分からないと言っていた。要望や意見の見える化が大切である。

<法貴委員>

要望の中の公共交通を例にとっても、地域によって実情が違うため、議員に情報共有するのはよいことである。議会を傍聴した方が6人とのことだが、議会の休日開催など貴重な意見をいただいた。

<山木委員>

いろいろな要望を聴いたが、それが目的ではなかったので氏名住所までは確認していない。聴き取りが目的ならば、始めからそのつもりでなくてはならない。

<三上副委員長（広報部会長）>

街頭インタビューのコンセプトをはっきりして臨むことが必要であったと思う。今回は市の施策について尋ねる趣旨ではなかったと認識しており、議会についての意見を求めるようにした。班を分けたので、違う班は記録されているかもしれないが、私たちの班は市政への要望や意見の記録は残していない。

<富谷副委員長（広聴部会長）>

インタビューで受けた意見を議会だよりに載せ、読まれる方に意見が記載されていることを伝えていけないか。

<三上副委員長（広報部会長）>

議会だよりの載せ方は考えるが、今回はあえて市政のことは聴いていないので、逆にインタビューされた方の中から議員によって聴き方が違うのかと考える人もあるかもしれない。

<松山委員>

今回は議会をどれだけ知っているかをテーマにしたのは確かであるが、会話の中で聴いた意見は議員間で共有できたらよいと思う。

<三上副委員長（広報部会長）>

意見を資料としてまとめ、残していくことは必要だと思う。

<松山委員>

各議員に情報共有として何らかの会議に報告するか。

<三上副委員長（広報部会長）>

そこまでしなくても、インタビューの内容をまとめレターボックスに入れる程度でよいと思う。

<浅田委員長>

では今回の街頭インタビューについては、内容をまとめ、レターボックスに入れる方法で各議員に共有していくこととする。

3 今後の活動について

①わがまちトーク

<浅田委員長>

わがまちトークは来年度の開催に向けて、広聴部会で詳細を詰めていただきたいが

どうか。

<富谷副委員長（広聴部会長）>

先ほどの部会で令和6年度開催方針を作成し、自治会と各種団体から相手先を決定していきたいと考えている。団体候補として、はたちの会実行委員会が挙がっており、事務局が教育委員会と調整することとしている。

<三上副委員長（広報部会長）>

前回、わがまちトークを実施したとき、要望や意見は「参考意見」、「報告」、「調査・回答」に分け、執行部への提供や市のホームページで広報を行ったが、地域懇談会と同じになったように感じており、この点の見直しを含め検討いただきたい。

<富谷副委員長（広聴部会長）>

ファシリテーション研修を生かし、よりよいものをつくっていききたい。

<三上副委員長（広報部会長）>

自治会でテーマを決めて小グループで話し合う方式はよかった。状況に応じて執行部に声をかけてもよいかもかもしれない。

<浅田委員長>

引き続き広聴部会でよろしく願う。

②YouTube編集・配信

<浅田委員長>

YouTubeの編集・配信について、どのように取り組んでいくか意見はあるか。

<三上副委員長（広報部会長）>

作業自体の話ではないが、開議や休憩後の再開の前に委員長に手を上げてもらうなどの工夫で編集作業がやりやすくなる。

<富谷副委員長（広聴部会長）>

いつからするのか。

<事務局次長>

11月までの編集・配信作業は終了しており、12月議会はYouTubeではなくインターネット配信となるが、事業者への委託である。ただし、事業者へ編集箇所を指定しなくてはいけないので手を上げていただけたらありがたい。

<松山委員>

手を上げることにについて事務局で周知してほしい。

<事務局次長>

各書記に伝言するが、常任委員会副委員長からも委員長にお伝え願いたい。

<竹内委員>

動画は声の聞こえやすさも大切であり、マイクの位置など注意していきたい。

<浅田委員長>

事務局から教示いただき、時間はかかるが編集作業等も実施していくことでよろしく願う。

③Facebookでの事前告知

<浅田委員長>

Facebookでの事前告知はどうか。

<松山委員>

一般質問は実施していくことを決定したと思うが、ほかの委員会は検討することであつたと思う。

<法貴委員>

一般質問について、毎日作業が大変なので一括して告知することでよいと思う。

<三上副委員長（広報部会長）>

まず、来週の本会議の告知から実施し、一般質問はいつからいつまでとして詳しい内容は通告書のURLを張り付ける形でよいと思う。

<浅田委員長>

今回は私が告知するが、順に各委員へ回していきたい。

④市議会ホームページのリニューアル

<浅田委員長>

市議会ホームページのリニューアルはどのように取り組んでいくか。

<松山委員>

気づいたことで、できることからやっていってはどうか。

<山木委員>

議会ホームページのバナーを亀岡市ホームページの最初のページに載せたいが、せめて一般質問中は「一般質問実施中」のお知らせを載せていきたい。

<竹内委員>

箕面市議会のホームページが見やすいので参考にしながら変更していけばよい。

<三上副委員長（広報部会長）>

誰が責任をもって担当していくかを決めたらどうか。その担当者と事務局でよりよいものとなるように具体化していってもらえればよい。

<浅田委員長>

山木委員と竹内委員を担当とするので、イメージチェンジとなるように検討願う。

4 その他

<浅田委員長>

その他で何かあるか。

<三上副会長（広報部会長）>

広報広聴会議のLINEグループをつくってほしい。

<浅田委員長>

それでは事務局でLINEグループの作成をお願いする。ほかになれば、次回の広報広聴会議日程は追って連絡することとし、本日は散会する。

散会 15:22